



3月1日(日)第74回卒業証書授与式が、ご来賓・保護者ご臨席のもと、厳かに挙行されました。

「卒業証書授与」では、HR担当が一人一人を呼名した後、普通科39名の総代として森本真悠さん、森林クリエイト科18名の総代は森本天海さんが登壇し、学校長から卒業証書を受け取りました。自分たちで書いた拝宮和紙を使用した卒業証書は、個性が光り、味わいのあるものになりました。

続く「式辞」では、大栗校長が、先日行われたミラノ・コルティナオリンピックの話題から「四年のサイクルで見通しを立てたり、振

# 第74回卒業証書授与式

徳島県立那賀高等学校

## せせらぎ新聞

第86号

発行 / 那賀地域中高一貫教育研究委員会事務局 (徳島県立那賀高等学校内)

〒771-6209 徳島県那賀郡那賀町小仁字大字大坪179番地の1

電話 : 0884-62-1151  
FAX : 0884-62-2590

那賀高校ホームページURL  
<https://naka-hs.tokushima-ec.ed.jp/>

り返ったりしながら、自分の選んだ道をしっかりと進んでいってほしい」と卒業生に語りかけました。

来賓の方々より、卒業生へ心のこもった励ましのご祝辞をいただいた後は、生徒会長の小倉楓雅さんが「送辞」を述べました。部活動や寮生活、学校行事の思い出を振り返りながら、お世話になった先輩への感謝の気持ちをストレートに伝えました。先輩を想う温かい言葉が卒業生の心に響きました。

続いて卒業生代表として、森林クリエイト科の豊川遥希さんが「答辞」を述べました。豊川さんは様々な思い出とともに高校生活



を振り返り、「卒業証書が多くなる過程を経て完成するように、多くの方々の支えのおかげで私たちはここにいることができる」と、これまで関わってくださった方への感謝を述べました。また、苦楽を共にした同級生たちに「お互いに自分の夢に向かって、諦めずに頑張ろう」と語りかけました。保護者への感謝の言葉や後輩へのメッセージにも素直な思いがあふれ、会場全体が感動に包まれました。

答辞の後は、卒業生が列ごとに起立し、見送る正・副担任に深々と一礼し退場しました。在校生から花束を受け取り、大きな拍手の中、体育館を出て行く姿は堂々と立派でした。

その後、各教室では最後のHR活動が行われました。一人一人に卒業証書が手渡され、担任からの話や卒業生それぞれのスピーチがありました。教室は、笑い声も時折折られ涙も流れる、和やかな雰囲気にも包まれ、保護者の皆様にも一緒に楽しんでいただきました。

旅立ちにふさわしく、晴れ渡った爽やかな一日になりました。3年間、那賀高等学校で学び、大きく成長した卒業生の皆さんの明るく前途をお祈りします。



### 若鮎寮 卒寮式

2月28日(日) 若鮎寮にて卒寮式が行われ、卒業生と関係職員が参加しました。新寮生から卒業生へ、卒業生からは調理員さんや舎監の先生への感謝の言葉が贈られ、教職員からは記念品が贈呈されました。卒業生のスピーチでは、3年間の寮生活の思い出や共に過ごした仲間との絆が感じられ、温かい雰囲気の卒寮式となりました。



### 卒業生の主な進路決定先 & 後輩へのメッセージ

**進学**

**徳島文理大学**  
大学へ行くには成績が大切なので、普段の授業態度や小テスト、定期考査を意識しました。特に定期考査は成績に響くため、1ヶ月前から計画的に勉強しました。みなさんも日々の積み重ねを大切に、無理せず頑張ってください。

**鳥取環境大学**  
放課後3時間の自習を習慣にし、小論文は多くの文献を読み、何度も書き直し、先生の指導を受けて対策しました。学校の環境をフル活用して粘り強く準備することで合格に繋がったと思います。応援しています！頑張ってください！

**農業大学校**  
私は進路実現に向けて面接練習を頑張りました。過去の試験記録が無く、口頭試問でどのような問題が出るのか分からなかったため、教科書から出題されるような場所を復習しました。また、先生方へお願いし、口頭試問の練習をしました。進路実現に向けて大変なことがありますが、今、自分のできることを最大限頑張ってください。

**専門学校 徳島六吹カレッジ 美容学科**  
私は、進路実現に向けて、早めに準備して受験しました。特に面接には力を入れ、自分自身のことをアピールできるように練習しました。早い段階で進路を決めることで、資格取得にも力を入れることができました。早め早め行動すること、いろいろなことに挑戦できます。前向きに頑張ってください。

**株主会社(アキラ)**  
私は元々林業を志望していたので、日々の実習で先生の技術や知恵を学び、それを体に覚えさせることを頑張りました。装備は正確に着用できているか。効率よく作業できているか。メンテナンスはきちんとしたか。小さな確認作業と空間認識能力、恐さに打ち勝つ精神力をこの3年で身に付けることができました。何事にも興味を持って打ち込めば、学びに繋がります。それが自分の成長。さらには夢の一歩へとなることを自分自身のために覚えておきたいです。

**自衛隊**  
私は進路に向けて勉強を頑張りました。私は自衛隊の一般書生候補生に受かるために、毎日のように勉強してわからないことがあったら先生に質問していました。皆さんも、したいことややりたいことはまっとうに頑張ってください。諦めずに自分の未来のために頑張ってください！

**就職**

**大塚製薬株式会社**  
高校生活の3年間というのは長いようで短いものです。その3年間の中で自分の将来について考えてほしい仕事や進路先を見つけ出さなければいけません。私が一番大切だと思っことは人との繋がりで、人との関わりを増やし、コミュニケーション能力を高めると必ず面接の時に立ちます。これから先、私自身も社会人として今まで以上に人との繋がりを大切に、成長していきたいと思えます。

**山菱電気株式会社**  
私が就職に向けて頑張ったことは2つあります。1つ目は検定の資格を取ったことです。どんな資格でも取っておくと役に立つと思うのでみなさんも挑戦してみてください。2つ目はボランティアに参加したこと。いろいろな人と話す機会ができてコミュニケーション能力が上がり、交流が生まれたりして楽しかったです。だからみなさんも友達と一緒に協力して頑張ってください。色々な先生に協力していただきました。同級生に手伝ってもらい、先生方には改善点を指摘していただきました。

**日亜化学工業株式会社**  
私が日亜化学工業株式会社の試験で頑張ったことは、面接とグループディスカッションです。面接はどんな質問が来ても話まらず答えられるように、色々な先生に協力していただきました。グループディスカッションは、同級生に手伝ってもらい、先生方には改善点を指摘していただきました。

### 令和7年度 予餞会

3年生を送るイベントである予餞会。今年は、映画「366日」が投票により選ばれて、全校生徒で鑑賞しました。HYさんの名曲「366日」を元に作られた映画ということで、あらゆる人の共感を呼んだ作品。それだけあってかなり反響を呼んだ映画でした。ヒロインとその彼氏、幼なじみとのすれ違いが随所に表れる、儂くもせつない物語に生徒も教職員も感情移入せずにはいられませんでした。上映後は打って変わって、3年生のメモリアルムービーを鑑賞しました。生徒会によって作られた約40分にも及ぶ大作でした。笑いあり、涙ありの3年間。卒業する生徒たちは何を思いながら見たのでしょうか。彼らのこれからのさらなる飛躍を期待します。君に幸あれ。



### 那賀地域 中高生によるオンライン交流

1月23日(金)、連携3中学校(鷲敷・相生・木頭)の1年生と本校生徒会役員10名が、オンライン交流を実施しました。最初は緊張した様子で会が始まりましたが、各学校・学級の紹介や自己紹介を通して、徐々に和やかな雰囲気となりました。また、中学生の皆さんからの質問にもしっかりと答えることができました。お互いに良い刺激を受けた交流となりました。



#### 本校生徒たちの感想

- 中学生と一緒に楽しく交流ができてよかったです。人前に出て発表したりするのは少し緊張しましたが、いい経験になりました。ぜひ那賀高校に来て欲しいと思いました。
- 普段、あまり関わることのない連携中学校のみなさんと交流ができていい経験になりました。普段気にせず生活をしていただけ、私たちが知らない那賀高校のことを改めて知れて良かったです。また、オンライン交流を通して、中学校の後輩や中学校の時の先生の顔を久しぶりに見ることができて嬉しかったです。
- 今回の中高生オンライン交流では、高校生として中学生から高校生活についての質問を受け、授業や部活動、学校の雰囲気などについて答えました。自分が普段当たり前に感じていることも、中学生にとっては不安や疑問になるのだと気づきました。今回の交流を通して、自分の学校生活を振り返る良い機会になり、相手に分かりやすく伝えることの大切さを学びました。

### エシカルクラブの主な年間活動

5月	消費者まつり2025・Earth Dayフリマルシェ
6月	食育推進全国大会
7月	阿南市役所長期展示譲渡「夏の陣」・藍染め体験(四国大学)・はばたき賞
8月	SDGs甲子園2025・グッドライアワードプレゼンター発表
9月	那賀高祭
10月	インディゴコレクション・なかもつり・食の宝島とくしまマルシェ
11月	循環フェス(京都)・あなまちマルシェ・もみじまつり・親子deなかくる
12月	阿南市役所長期展示譲渡「冬の陣」・全国ユース活動発表大会四国地方大会・太布織り
1月	カジ蒸し体験・ボランティアフェスティバル
2月	生徒まんなか成果発表会・藍青賞受賞式・県議会賞受賞式
3月	SDGs QUESTみらい甲子園徳島大会



今年で9年目を迎えるエシカル活動は、「企画・営業・広報・マーケティング・縫製」の部門にわかれ、各部門の大臣(チーフ)を中心に、服活などイベントや企画など主体的に活動しました。また、協賛企業が出演している循環フェス(京都)に今年も参加し、サステナブルファッションについて発信することができました。

そして、活動が全国的に認められ、中学校の教科書にエシカルクラブ活動が掲載されたり、「SDGs甲子園2025」優勝、全国ユース活動発表大会四国地方大会では「先生が選ぶ特別賞」をいただきました。また、「はばたき賞」「藍青賞」「県議会表彰」などの数々の賞を受賞することができました。

そして、一昨年度から商品化している「相生晩茶のティーバッグ」に加え、今年は放置されている木頭柚子を利用した「ゆずコンフィ」を地域探究同好会と共同開発することができました。

今後も、衣生活・食生活の面からだけでなく、多方面からエシカル消費について、今の私たちに何ができるのかを考え、環境に配慮した生活が「ふつうごと」になるよう行動していきたいと思っています。



### 森林クリエイト科 町有林実習

町有林実習を、2月13日(休)朝8時50分から17時まで、那賀町森林美術館の近くにある山林で実施しました。12月に伐採した原木を林業機械で集材する技術を習得する目的で、那賀町のyamaken株式会社の社員3名と那賀町林業振興課の担当者2名の方々の指導のもと、終日、実践的な実習を行いました。また、集材した原木を木頭森林組合横石工場に運び、その土場で競りについて学びました。この日は集材から木材の流通の流れを学習することができました。



### 卒業証書作成



本校は、平成28年度の森林クリエイト科開設当初より、旧上那賀町拝宮地区に伝承されている「拝宮和紙」について学習しています。地域の伝統技術を学んだ成果として、平成30年度より、卒業証書製作の取組をスタートさせました。本年度も、12月に普通科・森林クリエイト科3年生全員が紙漉き実習を行い、世界で1枚だけのオリジナル卒業証書を作成しました。丹生谷の自然の恵みと、思い出のつまった卒業証書を手し、新たな進路で精一杯活躍してほしいと願っています。

### スーパーとくしまGXスクール指定校事業

本事業は、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能な社会の担い手を育成するため、自然との共生に継続的に取り組むことを目的とした事業で、今年度、那賀高校森林クリエイト科が採択されました。事業内容として、身の回りの建築物を木に変える「ウッドチェンジ」や木とふれあい木のことをもっと詳しく学ぶ「木育活動」、伐採跡地に広葉樹を増やし山腹崩壊を防ぐ「自然保護環境活動」など、様々な取り組みや活動を実施してきました。



山のおもちゃ美術館での木育活動



12月、山梨県ネイチャースクール学芸員の佐藤洋先生を招いての出前講座の様子です。



木頭杉の看板でウッドチェンジ

### 総合的な探究の時間 Future Design

那賀高校では、「総合的な探究の時間」をFuture Designと題し、地域課題に目を向け、地域の方々と協働し、地域課題解決に向けて実践していく資質・能力の育成をめざした活動を展開しています。令和6年度からは文部科学省「『総合的な探究の時間』の質向上を図るための実践事業」校に採択され、さらなる魅力化に取り組んでいます。

- 1年生 SDGsカードゲーム 木頭地区フィールドワーク(太布織、ネクストチャプターゲストハウス木頭) 演劇ワークショップ 鷲敷地区インタビュー(地元企業、個人商店、役場など) かきまぜ実習
- 2年生 地域実践型インターンシップ「学校横断型探究プロジェクト」(青森、山形、茨城、島根県の高校とのオンライン探究活動交流)
- 3年生 全校探究報告会 探究論文作成
- 学校行事 地方創生SDGs講演会(地方創生プロデューサー 中川みどりさん)

